



辻邦生 生誕100年

辻邦生と 佐保子

ふたりが見つめた光



辻邦生《架空会見記》1958年頃

2025.12.13 | 土 | → 2026.2.23 | 月・祝 |

開館時間：10:00-19:00（入館は18:30まで） 休館日：月曜日（祝日の場合は開館、翌平日が休館） 観覧料：一般 500円（450円）中学生以下無料

（）内は各種割引料金（20名以上の団体、清須市立図書館貸出利用カード提示者など）・各種障がい者手帳等提示者及び付添人1名は無料

●特別割引企画〈なかよし割〉おしどり夫婦と呼ばれた辻邦生、辻佐保子にない、おそろい（色ちがい可）のお召し物を着用、または小物を持参された方は割引料金でご入館いただけます。

※中学生以下の方が着用・持参の場合は同伴者一名が対象。

主催：清須市はるひ美術館 特別協力：学習院大学史料館（霞会館記念学習院ミュージアム） 協力：辻邦生生誕100年記念事業組織委員会

清須市はるひ美術館

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1 TEL 052-401-3881 <https://www.museum-kiyosu.jp>

パリ留学時代の「傑作マンガ集」より



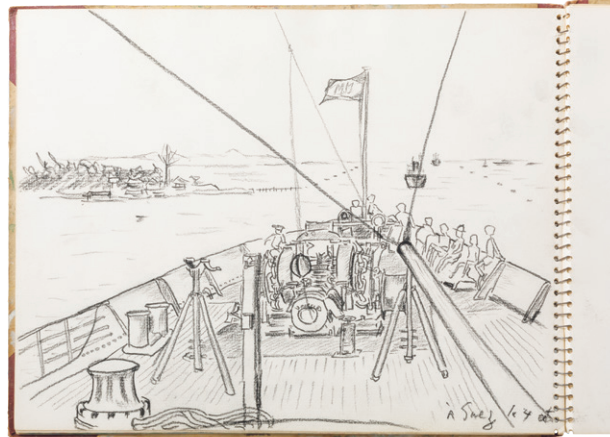
KIYOSU
CITY
HARUHI
ART
MUSEUM



辻邦生・佐保子夫妻 国分寺の自宅の居間にて 1955年頃



後藤科子作ストール



辻邦生《スエズ運河での船上の様子》1957年10月4日



辻邦生と佐保子

ふたりが見つめた光



つじくに お

辻邦生 (1925-1999) は、小説家、フランス文学者として数々の歴史小説を手掛け、代表作『背教者ユリアヌス』、『春の戴冠』、『西行花伝』などは今も多くの読者を魅了しています。辻佐保子 (1930-2011) は、美術史家として特にビザンティン、ロマネスク美術研究において業績を残し、大学教員として後進の研究者たちに多大な影響を与えました。邦生と佐保子はおしどり夫婦としても知られ、1957年のフランス留学をはじめ欧州を中心にたびたび取材旅行をともにしました。残された旅の記録からは、ふたりの親密な様子だけでなく、お互いの仕事に対する深い信頼と敬意を感じることができるでしょう。また、邦生は琵琶奏者の辻靖剛を父に、佐保子は工芸作家の^{ごとうしなこ}後藤科子を母にもち、それぞれの出自からも創造的な営みが身近にあったことがうかがえます。本展では、文学と美術史という異なる分野で活躍した邦生、佐保子の仕事にまつわる品々をはじめ、海外取材で撮影した写真やスケッチ、留学中から描き合った絵手紙「MANGUA (マンガ)」などを紹介し、ふたりの間で紡がれた豊かな時間をたどります。また、幼少の頃一時期を名古屋で過ごした邦生と、名古屋で生まれ育った佐保子の地域や家族との繋がりにふれる品も特別に展示します。



薩摩琵琶「青霄」辻靖剛旧蔵 1903年



辻邦生成作 木版画 1972年



アクロポリス神殿の柱装飾片



辻邦生『西行花伝』私家本 1997年6月
柄澤齊 装幀、大家利夫 製本(限定5部の内1冊)

関連イベント

記念講演

〈要事前申込〉

「安土往還記から西行花伝へ
— 文芸書が美術だった時代 —

講師: 柄澤 齊 (美術家)

日時: 12月21日 (日) 14:00~ (1時間ほど)

会場: 清須市立図書館 2階研修室

料金: 無料 定員: 50名

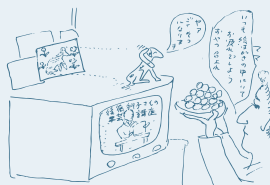
申込み: 当館までお電話ください (052-401-3881)

※最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

清須市立図書館 連携企画

辻邦生 関連書籍コーナー

本展会期中、
清須市立図書館にて
辻邦生の書籍を
ご紹介します。



パリ留学時代の「傑作マンガ集」より

●特別割引企画〈なかよし割〉

おしどり夫婦と呼ばれた辻邦生、辻佐保子になり、おそろい (色合いも可) のお召し物を着用、または小物を持参された方は割引料金でご入館いただけます。

※中学生以下の方が着用・持参の場合は同伴者一名が対象。



夢広場はるひ

清須市はるひ美術館

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1

TEL 052-401-3881

<https://www.museum-kiyosu.jp>

交通案内

●電車でお越しの場合

JR東海道本線「清洲」駅下車 徒歩約20分

名鉄「新清洲」駅、JR「枇杷島」駅、JR「清洲」駅から「きよすあしがるバス」に乗り、「夢広場はるひ (図書館・美術館)」下車すぐ

●車でお越しの場合

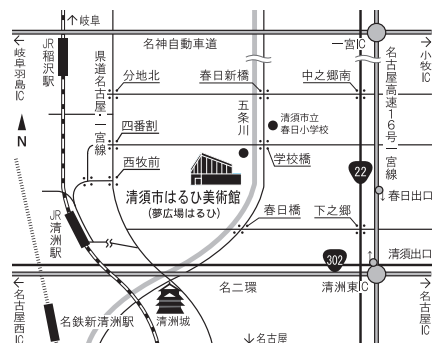
名二環 清洲東ICより約5分

名神高速道路 一宮ICより約20分

名古屋高速道路 一宮からは春日出口より約5分 /

名古屋からは清須出口より約5分

※無料駐車場をご利用ください (104台)



清須市はるひ美術館はTRC・名古屋三越グループが管理・運営しています。